

県議会議員 大川ただお 臨時議会報告



森田健作知事、 2期目となる最初の 臨時県議会 議会報告

4月12日に、先の知事選挙を受け、臨時議会が開会され、知事就任の挨拶がありました。

所信表明は、公約に掲げた、

- 1 東京湾アクアラインの国策としての恒久的な料金引き下げ。
- 1 圏央道の早期全線開通の実現。
- 1 成田空港を活用した経済活性化。
- 1 コンビニエンスストアと連携した防犯対策。
- 1 (仮称) 防災基本条例の制定。
- 1 (仮称) 「千葉県の教育に関する有識者会議」の設置。
- 1 子育て支援及び医療・福祉の充実。

などを掲げ、「千葉を元気に！千葉を日本一！」にしたいと訴えた選挙中の県民の皆様からの多種多様なご意見を十分踏まえ、今後の4年



間で重点的に取り組むべき施策を早い段階で議会提案できるよう、作業を進めてまいります。あわせて、徹底した業務の効率化やコスト削減、建設地方債の残高縮減など、県庁全体のポテンシャルを最大化するための行政改革にも取り組んでまいります。

本県を、活力にあふれ、県民の皆様が、「千葉に生まれ、千葉に住み、本当に良かった」と「誇り」と「自信」の持てる「日本一の光り輝く千葉県」を築いて参ります。と所信表明がありました。

我が県は、東日本大震災からの復旧・

復興はもとより、当初の想定よりも早い人口減少と少子高齢化を迎えるなど、これまで日本社会が経験したことの無い、大きな時代の変化の中にあります。

私は、県民、市民の皆様とともに「千葉を日本一にする！」頑張れる千葉県づくりの気持ちを全身全霊を捧げて持ち、県政運営に取り組んでいく所存でございます。どうぞ、今後ともご支援・ご指導賜りますようお願い申し上げます。

大川ただお

本年、2月議会において、2月4日に一般質問、2月8・12・13日の予算委員会で、質問いたしました。

大川忠夫 2月定例議会での 主な質問内容



(1) 地盤沈下について

本県は、水溶性天然ガスの産出県として、茂原地区を中心とし、九十九里沿岸部が最大の供給地区で、その埋蔵量は1,000億立方メートルと推定され、ガスはかん水と呼ばれる地下水に含まれており、地下水にはヨウ素が含まれています。ヨウ素は、ヨウドチンキやうがい薬などの医薬品や液晶の触媒材料としても使われており、「ヨウ素」生産量は、チリに次いで千葉県は世界第2位を誇ります。反面、地下水のくみ上げによる、地盤沈下の影響も起きており、本県は、くみ上げ量を規制し1,126本のガス井戸から、日量約16万

立方メートル、「地下還元日量」約1万9千立方メートル、としていますが、還元率はわずか11、87%で、残る日量約14万1千立方メートルは、河川や海等に垂れ流し排出されている。

3.11東日本大震災の影響により、九十九里地域では、5cm前後の沈下が多く見られ、局所的に14cm沈下した地点もあるとの事だが、



(質問)・累積沈下が著しい市町村の沈下量、地下水採取量との関係はどうか？

・天然ガスやヨードを採取するため、天然ガスかん水をくみ上げている九十九里地域では、地盤沈下が見られているが、新潟県では、地下へ全量還元という地盤沈下防止対策が取られている。千葉県でも、天然ガスかん水の還元量を設定するなど、今後の対策を行っていくべきと思うがどうか。と質問。

(答弁) 県内で測量が始まり約50年間の累積沈下は市川で2cmを超え、船橋、浦安、茂原市は1cmを超えた。現在は沈静化しているが、震災の影響で県内全域で2cm以上の沈下が起こった。天然ガスかん水企業10社と協定し揚水量削減の見直しを23年に行ったが、沈下の状況を見ながら今後も対応していく。

地盤沈下は一旦起きてしまうと、もとに戻りません。

「天然ガスかん水」は、本県の世界に誇る重要な資源でもあると思いますので、地盤沈下の状況は、常に注視し、「天然ガスかん水」の「くみ上げ」が要因と思われる場合、測量後の協議会を設けるなど、県としてきちんと方向性を、考えていかなければなりません。対策と見直しが迅速にできるよう要望



(2) 幕張インターナショナルスクールについて

開校から4年目を迎えインターナショナルスクールの小学校卒業後の進路つまり、中学校との接続が子供たちや保護者のあいだで大きな課題となっています

(質問) 帰国子女や日本で働く外国人の子ども達が県外からも集まり。まさに世界で活躍する人材を育成する幕張インターナショナルスクールに中学校課程を設け将来に向けて一層の充実を質問。



幕張インターナショナルスクールは1条校であるのにプール・体育館の設備が未整備のまま。保護者の希望に沿えるよう、また、通っている子供たちが安心できる学校づくりを、県として出来る限りのサポートを要望。

(3) 発達障害やその可能性のある子供への対応について

「発達障害」に似た子も自立を感じる年齢時までのケアで、治癒できる可能性もあるとも言われています。

(質問) 発達障害の可能性のある子供についての取り組み、早期発見のための乳幼児の健康診査の実施について質問。

(答弁) 今年度、就学前の幼児を持つ保護者にリーフレットを配布する。本県にとって初めての試みとの答弁。早期発見は、5歳児の時の検診が有効との事ですので、ぜひ保護者にも理解しやすいものを作って早期発見、早期対応を要望。

(4) 無料低額宿泊所及び類似する無届け施設について

老人施設の火災を受け、無届の有料老人ホームや、生活保護施設の無届け施設の防火管理問題などを質問。

(質問) 無届け施設は、全国で1,30



0以上あり「生活保護受給者」約1万6千人以上が入居していると言われ、施設型もしくは、アパート型や、さまざまな類似型であっても、届け出制を徹底すべきと質問。

(答弁) 県内23施設が無届で626名が入所。利用者のうち、380名が生活保護者。また、今年度より、施設長を対象にした研修会をはじめて開催する予定との答弁。

今後、協議会なるものを発足し、届け出制やルール作りについて現場の声を聴きながら協議頂きたいと、要望。

(5) ストーカー・DV対策について

(質問) 長崎で起きたストーカー殺人事件では、警察間の情報共有や連携が図られず、積極的な捜査を怠り「防げた可能性があった」事件を受け、被害者や被害者親族等を守るための防衛策として、緊急通報装置の増配について質問。



(答弁) 昨年のストーカー事件は971件(前年比515件増)に上り、昨年1年間の緊急通報装置の利用者が述べ62人に上り、新年度予算に15台の増設費を計上し、初期段階で組織運営に対応を図ると答弁。

被害者や家族、事件を未然に防ぐ観点からも「防犯機材等」の拡充は、大切な県民サービス。最低、各警察署に配置し、県民が、「安全で安心できる社会づくり」の推進を図るよう要望。

大川忠夫 予算委員会での質問

・コンビナート耐震化対策について

(質問) 3.11大震災では、市原市のコスモ石油のLPGタンクが倒壊しタンク17基すべてが、火災と爆発が起き、東北地区では多くの防波堤が津波に耐え切れず破壊されました。これらを受

けコンビナートタンクやコンビナートの護岸の耐震化対策を質問。

震災時、防波堤によって津波による被害をできるだけ軽減し、防波堤の整備や津波に耐

えうる護岸整備を進め、施設の耐震化に対する支援策な危機管理体制のさらなる確立を要望。

・千葉中央港について

(質問) 首都圏直下型の震災を想定した場合、陸路でのさまざまな搬送が困難を来すことが想定される中、千葉中央ふ頭「H岸壁」の耐震化事業の見通しについて。

中央港出洲「D岸壁」は、老朽化が進み岸壁が使えない状態となっており、活用されておらず、活用見通しについて質問。

千葉港は平成27年度に、中央ふ頭の旅客船棧橋が1基完成予定。京葉線の千葉みなと駅からもアクセスは良く、観光とにぎわいの場として大きな可能性を持っており、次期、港湾計画のさらなる整備と活用を要望。

・県収入証紙の廃止について

本県の収入証紙による納入制度は、57年間続いているが、一般県民が目にするのは、自動車の運転免許、あるいは海外旅行のパスポートを取得するときく



らいであります。東京都では平成22年4月1日に廃止を条例化し、広島県でも2015年に廃止し、年間約7300万円のコストを削減できると試算。千葉県としても、行政コスト削減、県民の利便性につながるようであれば、ぜひ前向きに検討すべきと要望。

皆様からのご意見ご要望等ございましたらお寄せ下さいますようお願い致します。

県議会議員 **大川忠夫** 後援会事務所

〒262-0018

内部資料

花見川区 畑町 599-17

TEL 043-272-3888

FAX 043-272-3889

http://www.ookawatadao.com

E-mail:ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp